

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

直江津地区
(都市再構築戦略事業)

令和4年2月

新潟県上越市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	中心市街地歩行者数	人/日	2,889	4,050	2,189	確定 ●	△	あり	1,991	R3年6月	×	コロナ禍により外出する人が減少したため。	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	大型店舗のオープンや運転免許センターの移転が行われたものの、コロナ禍の影響もあり、歩行者数の増加には至らなかった。
指標2	上越市立水族博物館入館者数	人/年	182,186	487,500	899,602	確定 ●	○	あり		H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	設計段階から民間事業者の意見を取り入れることで魅力あふれる施設を整備したほか、効果的なPRにより入館者数の増加につながった。
指標3	直江津地区計画区域に居住する若年人口(65歳未満)	人/年	6,912	6,950	6,319	確定 ●	△	あり	6,178	R3年3月	△	全市的な人口減少が進行しているため。	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新たに建設されたマンション等複合施設は満室となり、目標達成には至らなかったものの、減少率の緩和につながった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	屋台会館の利用者数	人/年	2,180	/	23,798	確定 ●	/	/	/	H 年月	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	水族博物館来館者の休憩場所としての利用が増加しており、水族館にとっても、休憩場所があることが利用者増につながっていると考えられる。
その他の数値指標2	中心市街地における休日の自動車交通量	台/日	19,393	/	21,735	確定 ●	/	/	/	H 年月	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	自動車による来訪者の増加がみられた。今後は、自動車のアクセス性の向上や自家用車以外のアクセス方法の検討が必要である。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	水族博物館入館者数の目標達成	・コロナ禍において、国・県の指針に基づき、休館や人数制限等を適宜実施し、来場者の健康や安心を確保しつつ営業を実施した。	・開館2年目となり、開館効果が減少するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による休館や入場制限等により、入館者数は366,332人と前年度より減少した。	・アフターコロナを見据え、国・県等の指針に基づいた感染対策を徹底しながら、入館者の確保に向けた方策を検討する。
	まちなかへの誘客	・中心市街地における空き店舗等を活用した商業施設等の出店に対し、改装費等の一部を補助した。 ・令和3年度に直江津地区を会場とした現代アートイベントのイベントである「なおえつ うみまちアート」が開催された。	・R元年度～2年度にかけて、5店舗が制度を利用して新規出店し、まちなかの賑わい創出に寄与した。 ・なおえつ うみまちアートの各会場へ市内外から新たな客層による延べ2万人以上の来場があった。	・補助制度の周知に努めるとともに、新規出店後のフォローアップを行い、伴走型の支援を実施する必要がある。 ・なおえつ うみまちアートの評価・検証を踏まえ、今後の取組の展開を検討する必要がある。
	水族博物館への来訪者の屋台会館利用	・水族博物館を利用する団体来館者に対し、休憩場所として屋台会館を案内するとともに、水族博物館が企画する学習会の会場として利用した。 ・「なおえつ うみまちアート」の作品展示会場の一つとして活用した。	・主に小中学校の団体来館時の昼食会場や生き物について学ぶ学習会場として利用された。 ・「なおえつ うみまちアート」の会期中、水族博物館との相乗効果により、延べ約5,000人の来場があった。	・引き続き水族博物館と連携しながら、積極的な利用促進を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	まちなかへの回遊促進	・まちづくり団体に対して、まちづくり会社交付金を交付し、水族博物館の来館者を中心に部商店街へ誘導して店舗の利用を促すとともに、中心市街地の活性化と地域の消費拡大を図った。 ・ライオン像のある館を起点として、直江津地区に残っている北前船に関する史跡などを巡るまち歩きを実施した。 ・「なおえつ うみまちアート」において、直江津地区内の離れた4か所を展示会場に設定することで、まちなかの回遊を促進した。	・まちあるきガイドマップの発行やWEBサイトを通じた情報発信が実施され、来街者に対し「水族館のあるまち・直江津」を訴求するとともに、歩いて楽しめる環境づくりが推進された。 ・まち歩き参加者に対し、直江津地区に残る地域資源への理解を深め、直江津地区への再訪機会の創出に寄与した。	・引き続きまちづくり団体と協力し、まちなかへの回遊促進を図る。 ・水族博物館やライオン像のある館をはじめ、直江津地区の各施設や商店等を周遊するイベントや仕掛け等を企画し、まちなかへの回遊を促進する。
	若年層・子育て世帯のまちなか居住誘導	・直江津地区のまちなか(立地適正化計画で定めた「誘導重点区域」)において「まちなか居住推進事業」の取組に着手し、関係課で現状や課題を整理したほか、今後の取組方針について検討を進めた。 ・令和3年度に港町特別公共賃貸住宅について、民間事業者のノウハウを活用した改修に着手した。	・まちの将来像及び課題解決に向けたモデルケースになり得る施策の行政案を取りまとめた。 ・特別公共賃貸住宅の改修工事を実施しており、令和4年3月下旬に完了予定。	・地元住民や事業者等と行政が協働でまちなか居住を推進していくため、直江津地区の現状・課題等について、R3年度から地元町内会長等へヒアリングを行っている。今後、地元住民や事業者等への説明・意見交換を行った上で、具体的に取組む施策を決定し、R5年度から個別の施策を実行する予定。 ・まちなか居住に資する若年層・子育て世帯への動機付けを含め、地元住民等と引き続き検討していく。 ・特別公共賃貸住宅入居者のまちなかへの誘導策について検討していく。
	民間による住居の開発促進	・直江津地区のまちなか(立地適正化計画で定めた「誘導重点区域」)において「まちなか居住推進事業」の取組に着手し、関係課で現状や課題を整理したほか、今後の取組方針について検討を進めた。	・まちの将来像及び課題解決に向けたモデルケースになり得る施策の行政案を取りまとめた。	・地元住民や事業者等と行政が協働でまちなか居住を推進していくため、直江津地区の現状・課題等について、R3年度から地元町内会長等へヒアリングを行っている。今後、地元住民や事業者等への説明・意見交換を行った上で、具体的に取組む施策を決定し、R5年度から個別の施策を実行する予定。 ・事業者等による開発行為への動機付けを含め、地元住民等と引き続き検討していく。
	中央保育園と古城保育園の跡地利用	・中央保育園跡地は隣接者と跡地利用についての協議を行うとともに、園舎等解体工事及び擁壁設置工事を開始した。 ・古城保育園跡地は土地及び建物の売却に向けて、購入希望者の公募を行った。	・中央保育園の園舎等解体工事は完了し、現在は擁壁設置工事を実施している。 ・古城保育園跡地の売却先が決定した。	・中央保育園の擁壁設置工事は令和4年度に完了予定であり、工事完了後に土地の所有及び擁壁の管理について、隣接者との協議が必要。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項